

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・スカウト活動に際し、差別のないプログラム提供と評価により進級支援します ・世界スカウト会議の決議に則り、「セーフ・フロム・ハーム」を導入することによって、スカウトの活動が、より安全、安心に行われるよう取り組みます					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハームのない活動環境を提供することで、スカウトの年代に適した安全で安心できる活動をします					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働に該当する活動はない									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	労働に該当する活動はない				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働に該当する活動はない								3		8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	労働に該当する活動はない								3									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できるよう、アダルトリソースポリシーを推進しています					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・指導者養成体制が構築され、導入訓練、基本訓練、奉仕実績訓練が提供されています				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	[予定]パートタイム労働法、労働契約法等の改定内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った事務局体制の整備・対応を行います					5.5				8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]事務局員の健康管理に関し、日常業務を通じ健康に心掛けているが、今後積極的に取組んでいきたい								3		8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・紙類の分類を行い、適切な処理を行っています										11.6 12.4	14.1						
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・省エネを心掛け、集合会議をWeb会議に切替えるなどの省エネの取組を推進しています									7.3		13						
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・省エネを心掛け、集合会議をWeb会議に切替えるなどの省エネの取組を推進しています									7.2 7.3		12.4 13.3						
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・キャンプ生活を通して、水質及び土壌汚染や廃棄物の処理など環境に配慮する生活手法を指導体験しています ・ダメゼッタイ運動に参加し、薬物の使用に対して有害性を訴え、社会から無くすための支援をしています							3.9		6.3		11.6 12.4						
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・野外活動を通して、森林や河川などの水に関連する生態系の保護や回復を行うよう指導教育しています									6.6				15				
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・難民支援衣料回収プロジェクトを通じ、衣類のリユースに取り組んでいます ・スカウト活動のプログラムの中で3Rの推進を指導教育しています ・スカウトの日で、空き缶リサイクル活動をしています											12.5	14.1					
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・キャンプ生活の中で、水の大切さと飲料水の扱い方など指導教育しています									6.4 6.6								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7						12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2							13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄はスカウトの行動規範を徹底し組織内モラルを維持しています																			16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・競争行為はありません																					16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産の保護に関する該当はありません										8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・SNS等での個人が特定される情報の掲載不可など個人情報の扱いに配慮しています																					16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物は扱っていません																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・生産的な経済活動はありません					5					8		10		12	13	14	15	16	17		
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・生産消費形態を学んでもらい、天然資源の持続可能な扱い方を指導教育しています			3.9										12.4								
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・経済発展と人間の福祉を支援するために、持続可能なモノやサービスを日常生活の中で学んでもらっています													9								
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6								12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地元地域のアンバサダーとして観光資源や伝統文化の継承と発信を行っています				4						9		11	12		14	15		17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・ユニセフ募金、赤い羽根共同募金、災害募金など社会貢献活動に積極的に取り組んでいます				4								11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ											8	9		11	12	13				
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・日本連盟教育規定に基づき、コミッショナーが基準を維持するべく組織内で共有しています										8	9								17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・組織運営上の役割を明確にし、法令遵守の考えに基づき、団活動や野外イベントを行っています																			16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・世界スカウト機構（WOSM）は、これまで一世紀以上にわたり、「Creating a Better World（より良き世界をつくる）」の実現のため、さまざまな問題に対してサポートを行ってきました。そして、長野県連盟もその方針に沿って組織的に取り組んでいます																			16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・世界有数の青少年育成団体として、様々な関係者と連携し、より良き世界を作るために対話をしています																		16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・野外活動や大型イベントの際は、安全管理委員会を設置し、KYTを行いリスクマネジメントを実施しています																			16
40		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・世界有数の青少年育成団体として、様々な関係者と連携し、より良き世界を作るために対話をしています																			16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ												9		11		13	13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）